



教育目標 : 夢と目標 努力と挑戦 自信と誇りを身に付ける戸崎っ子の育成

新一年生の体験入学がありました

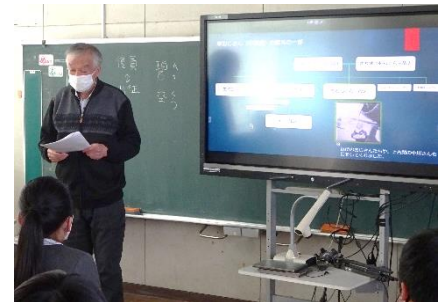


2月14日(水)に新一年生の体験入学がありました。7人の新一年生が元気に来てくれ嬉しく思いました。新一年生を現一年生が迎え、椅子取りゲームやハンカチ落としなどで楽しませていました。保護者の皆様は、図書室にて菊池教育事務所 水上社会教育主事、トレーナーの方から「親の学びプログラム」に参加していただきました。保護者同士のコミュニケーションが図れ、素晴らしい時間だったと思います。体験入学後には、在校生と一緒に、4月からの登校班で帰り、通学路などを確認することができました。4月9日(火)の入学式で会いましょう。



6年生が平和について学びました

2月9日(金)に6年生が平和について、地域の方から学びました。10月に修学旅行に行き、語り部さんの講話をとおして、戦争を二度と起こしてはならないこと、平和を守るバトンを受け継いだことなどを学びました。今回は、平和学習のまとめとして、乙森北にお住いの中尾様に、戦争終結前に戸崎で起きたことについて話をしていただきました。



中尾様の伯父の「中尾 厚さん」の話でした。厚さんが復員後に記された手記「碧空」をもとに、話していただきました。厚さんは、戸崎から海軍の戦闘機乗りとなり、訓練や戦地で戦っていたそうです。南方に出撃することになり、最後かもしれないと思って、宮崎県にある海軍基地から戸崎地区の上空に来たそうです。その際、低空で飛行し、戸崎小学校の運動場が野菜畑になっていること、運動場の端に子どもたちの姿が見えたこと、どんな思いで故郷戸崎の上空を旋回されていたかについて手記をもとに話していただきました。また、花房台にあった飛行場のこと、戸崎校区にある戦争遺跡(森北や上古閑にある防空壕)のことも写真を交えて話していただきました。最後に、子どもたちへ戦争があったことを忘れないでほしい、悲しい時代があったから今の平和な時代があること、友だちなど周囲の人たちを協力して支え合って頑張ってもらいたいことを伝えられました。以下に子どもたちの感想を紹介します。

○私は長崎に行ったり、お父さんやおじいちゃんから防空ごうの場所など、戦争のことは学んだりしたけど、地域の方のことは知らなかったし、戸崎校区内で戦争に行かれた人がいることを初めて知りました。ありがとうございました。

○戦争はとても怖いものなのに、自分のふるさとの戸崎に来られて出げきされたのは、本当にこの戸崎が好きだったと実感しました。戦時中の自分のふるさとについてたくさん知ることができ、とてもありがたく思いました。